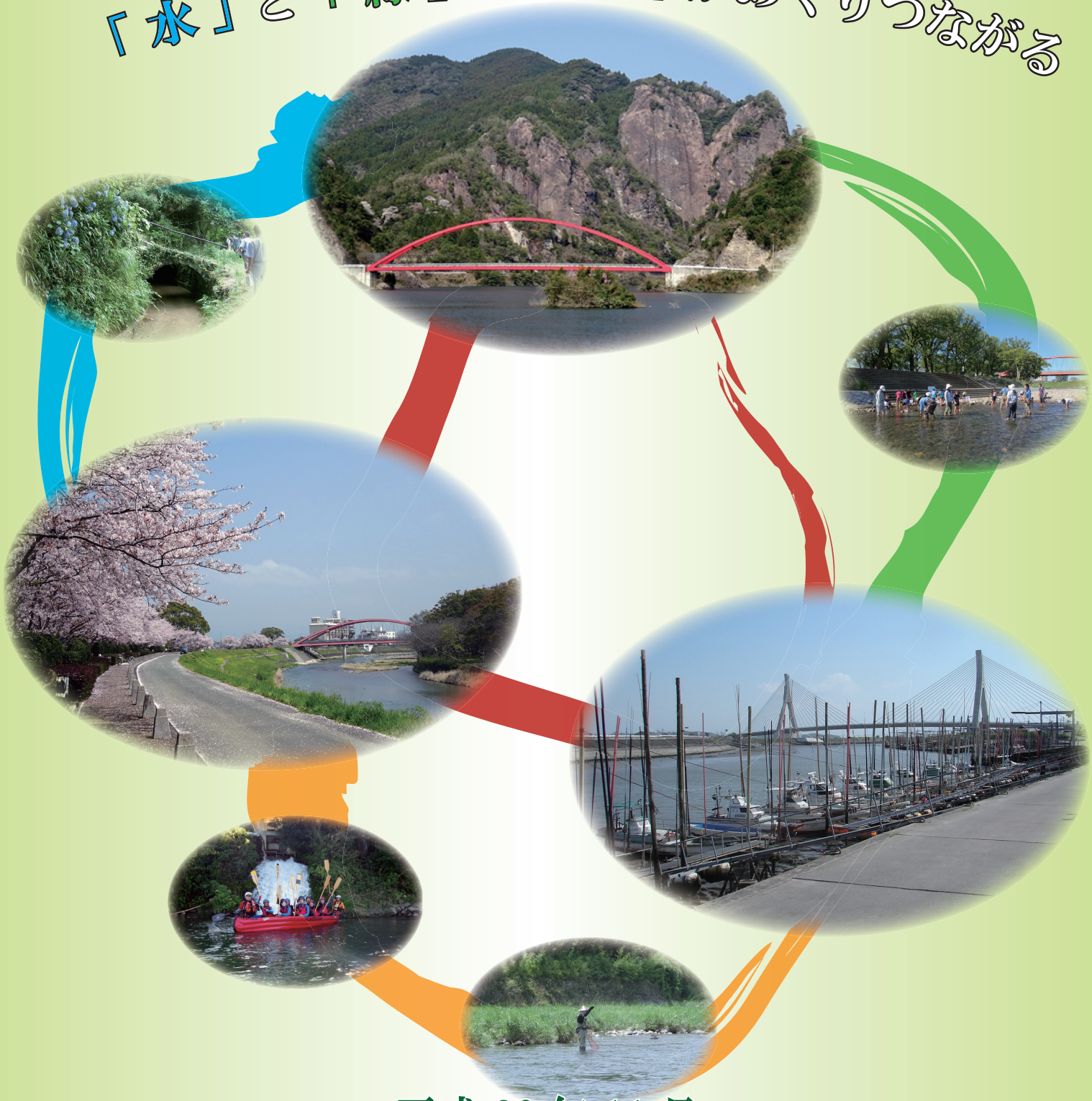
矢部川

矢部川水系河川整備計画
（変更）
－国管理区間－概要版

「水」と「緑」と「人」がめぐりつながる



平成 28 年 11 月

国土交通省 九州地方整備局 筑後川河川事務所

【河川整備計画とは】

「河川整備計画」とは、治水・利水・環境の観点から、これから概ね20年～30年間の具体的な川づくりの姿を示すものです。

「矢部川水系河川整備計画」は地域の皆さんや各専門家の皆様等のご意見を踏まえて平成24年2月に策定しました。

【矢部川水系河川整備計画の基本理念と概要】

「水」と「緑」と「人」がめぐりつながる　矢部川

治　水：安心、安全に暮らせる川づくりを目指します
利　水：限りある川の恵みを大切にします
環　境：豊かな河川環境を保全します

対象期間：整備計画策定後概ね20年間
対象区間：矢部川水系の国管理区間

平成23年東北地方太平洋沖地震

平成24年7月九州北部豪雨

平成27年9月関東・東北豪雨

ここがポイント!!

整備計画策定後の平成24年7月九州北部豪雨を受け、矢部川において甚大な浸水被害が発生するとともに、全国においても近年、洪水・地震・津波等による大規模な災害が発生していることから、**今回「矢部川水系河川整備計画の変更」を行いました。**

矢部川水系河川整備計画変更の流れ

過去

平成 19 年 11 月
矢部川水系河川整備基本方針策定

河川の将来目標や、河川工事及び河川維持管理などについて、河川の基本となるべき整備方針を示すものです。

平成 24 年 2 月
矢部川水系河川整備計画策定

河川整備基本方針に沿って、今後概ね 20 年後の河川の整備目標を設定し、具体的な整備内容を示すものです。

平成 24 年 7 月
九州北部豪雨発生

河川整備計画策定以降の平成 24 年 7 月に、矢部川や沖端川において堤防が決壊し、浸水家屋 1,800 戸を超える甚大な被害が発生しました。

現在

平成 26 年 6 月
河川整備基本方針（変更）

九州北部豪雨を受け、矢部川では平成 26 年に河川整備基本方針の変更を行いました。

河川整備計画（変更）

河川整備計画変更の流れ

- 河川整備計画【変更原案】　平成 28 年 2 月 12 日公表
- 学識経験者（矢部川学識者懇談会）：意見
- 地域のみなさん：意見
- 河川整備計画【変更案】　平成 28 年 7 月 29 日公表
- 関係機関：協議
- 地方公共団体の長：意見
- 河川整備計画　変更　平成 28 年 11 月 14 日策定

河川工事、河川の維持

将来

解説　**「河川整備基本方針と河川整備計画について」**

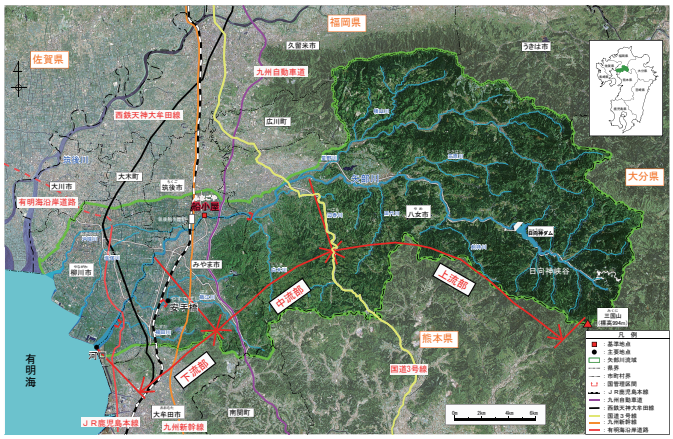
河川整備基本方針：河川整備を行う中での「長期的な整備目標」として定めたもので、矢部川水系では平成 19 年に策定し、河川で安全に流す流量を 3,000m³/s としました。
その後、九州北部豪雨を踏まえ、平成 26 年 6 月に変更し、河川で安全に流す流量を 3,700m³/s に変更しています。

河川整備計画：整備方針に定める目標を達成するための「中期的な整備目標」として定めたもので、具体的な工事内容等を示しています。矢部川水系では平成 24 年に策定し、河川で安全に流す流量を 2,800m³/s としています。
今回、この整備計画の変更を行いました。

矢部川流域の概要・水害

【矢部川流域】

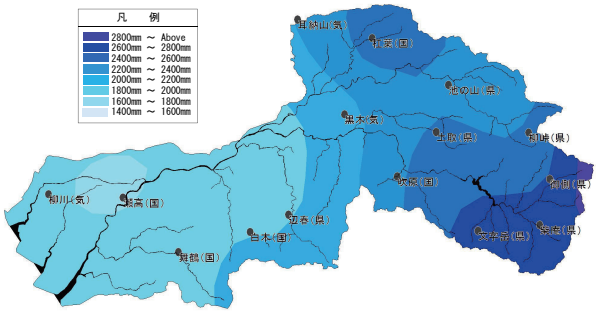
■矢部川は流域面積 647km²、河川延長 61km、流域内人口約 16 万人の一級河川です。



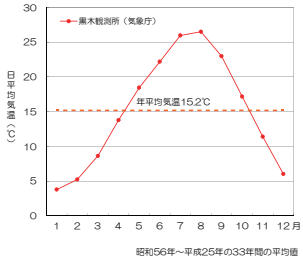
矢部川水系流域概要図

【気候・気象】

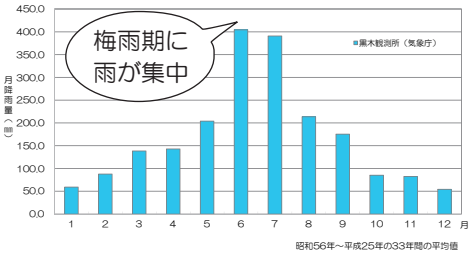
■流域の平均年降水量は 2,000mm ～ 3,000mm に達します。
■降水量の４割が梅雨期に集中します。



流域の平均年降水量の分布（単位：mm/ 年）
【平成 20 年～平成 26 年】



主要地点の月別日平均気温



主要地点の月別降水量

【歴史・文化】

■国の天然記念物である「新舟小屋のクスノキ林」、「船小屋ゲンジボタル発生地」、「黒木のフジ」をはじめとして、21 件が国の文化財に指定されています。

国指定天然記念物　新舟小屋のクスノキ林
（みやま市瀬高町）

国指定天然記念物　黒木のフジ
（八女市黒木町）

【産　業】

■矢部川下流有明海沿岸ではノリ養殖が行われています。
■八女市を生産地とする「八女茶」は全国的に知られ、なかでも「玉露」は全国生産量の約４分の１を占めています。

ノリ養殖
（矢部川河口付近）

八女茶の栽培風景
（八女市）

【自然環境・利活用】

■各種レクリエーションに利用され、多くの人が河川を利用しています。

上流部

○自然散策に利用されます。
○多くの観光客が訪れます。

日向神峡（八女市）

中流部

○水遊びなど利活用が盛んです。
○中ノ島公園や温泉地を訪れる人の散策に利用されています。

中ノ島公園利用状況（みやま市）

下流部

○市民の憩いの場だけでなく川下り出来る観光地として全国から多くの観光客が訪れます。

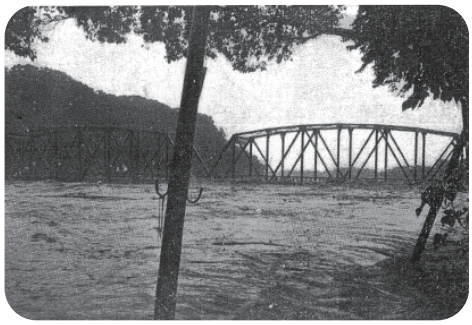
柳川の川下り（柳川市）

【水害】

【洪水の氾濫により、広範囲にわたる甚大な浸水被害が発生しています。】

昭和28年6月洪水

■堤防決壊、橋の流出等甚大な被害が発生
■床上 10,138 戸、床下浸水 15,896 戸
■日雨量 395mm、4 日間雨量 925mm



矢部川の氾濫状況（船小屋）
（現：筑後市船小屋）

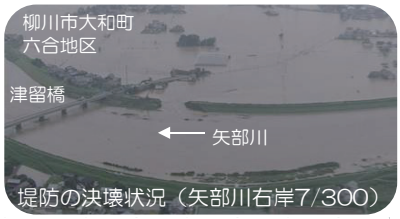
平成2年7月洪水

■床上浸水 484 戸、床下浸水 1,662 戸
■時間雨量 77mm、4 日間雨量 447mm

矢部川洪水の様子（八女市広瀬堰下流）

九州北部豪雨（平成24年7月洪水）

■床上浸水 697 戸、床下浸水 1,111 戸
■計画流量を超過し、堤防決壊
■時間雨量 94mm（観測史上最大）



堤防の決壊状況（矢部川右岸7/300）

堤防からの越水状況
（沖端川11/500付近）

7月14日出水による浸水家屋調べ
矢部川・沖端川の浸水戸数等

河川	市町	浸水戸数（戸）			備考
		床上	床下	計	
矢部川 沖端川	柳川市	465	816	1,281	国・県
	みやま市	203	187	390	国・県
	筑後市	29	105	134	国・県
	八女市	0	3	3	国・県
全体		697	1,111	1,808	

※浸水戸数には、内水による被害が含まれています。

堤防法尻周辺の噴砂状況

「平成24年7月九州北部豪雨災害における国土交通省の対応について」

解説

○平成24年7月九州北部豪雨では、柳川市の六合地区（矢部川右岸　7/300地点）において堤防が決壊し、甚大な被害が発生しました。国土交通省では、早期の復旧を目指し、全国から緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)や排水ポンプ車などの災害対策機械が派遣され、被災状況の調査や氾濫水の除去などを実施しました。現在は、堤防の強度が不足する箇所における堤防強化工事や部分的に川幅が狭い区間の引堤工事等を実施しています。

矢部川本川右岸7/300地点
（堤防決壊箇所）

九州北部豪雨災害時の対応状況

堤防決壊箇所での調査

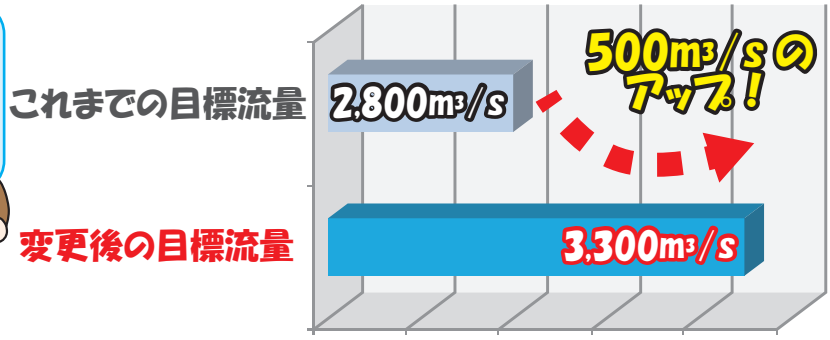
全国から災害対策車両が集結

排水ポンプ車と照明車による排水
（福岡県　柳川市）

【治 水（ハード対策）】

【整備の目標水準をこれまでよりもアップしました！】

■河川整備基本方針の変更や、事業の進捗状況等を踏まえて、河川整備計画における治水の目標を現在の 2,800m³/s から 3,300m³/s に増やしました。



【整備目標の達成に向け今後も河川整備を着実に進めていきます！】

■整備の目標水準のアップに伴い、現在進めている洪水対策、高潮対策等の河川整備を着実に進めていき、今後も治水安全度の向上を図っていきます。

堤防整備

○整備計画の目標流量を安全に流すために必要な河川の断面が不足する箇所において、川幅を広げるための引堤工事や、川の流下断面を増やすための河川内の掘削工事などを行います。

引堤工事中の状況

高潮対策

○高潮区間において、必要な高潮堤防高さが不足してる箇所の高潮堤防整備を行います。

高潮堤防の整備状況

橋梁架替

○堤防整備に伴って、支障となる、矢部川本川の泰仙寺橋及び飯江川の飯江川橋（車道橋）の架替を行います。

泰 仙 寺 橋

飯 江 川 橋

堤防強化

○地質調査や必要な調査・解析・検討を行い、堤防の強度が不足していると判断された箇所において必要な堤防強化工事を行います。

堤防強化工事中の状況

工事完成後の状況

地震・津波対策

○「平成 23 年東北地方太平洋沖地震」や「平成 28 年熊本地震」のような大規模な地震が発生した場合においても必要な機能を確保するために、堤防や水門等の耐震性能を照査し、必要な対策を行います。また、河川堤防等により津波被害の防御が図れるよう、必要な対策を行います。

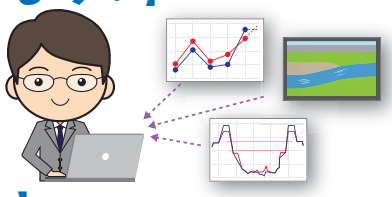
施設の能力を上回る洪水を想定した対策

○平成 24 年 7 月洪水では矢部川本川や沖端川において 3 箇所で堤防が決壊し浸水家屋 1,808 戸の大規模な浸水被害が発生しました。今後も施設の能力を上回る洪水による被害が起こりうることから、堤防構造を工夫するなどの対策を必要に応じて実施します。
また、災害発生時等において迅速な対策が行えるよう、水防拠点の整備や広域からの支援物資等の輸送が可能となるよう、高速道路と堤防道路との連続性の確保などに努めていきます。

【治 水（防災・減災、ソフト対策）】

【気候変動の影響を把握するためにモニタリングを行います！】

■気候変動の影響により洪水等の外力が増大することが予測されていることを踏まえ、流域の降雨量、降雨の時間分布・地域分布、流量、潮位等についてモニタリングを行い、定期的に分析・評価を行います。



【排水ポンプ車を派遣し、浸水被害の軽減を図ります！】

■内水等による浸水被害の発生時には、関係地方公共団体からの要請により、必要に応じて排水ポンプ車の派遣等を行い被害の軽減に努めます。

【市町による避難勧告等の適切な発令を促進します！】

■洪水に対してリスクが高い区間等について、市町、水防団、自治会等との共同点検を実施します。また、避難勧告の発令範囲の決定に役立つよう、堤防の想定決壊地点毎に氾濫が拡大していく状況が時系列でわかる氾濫シミュレーションを市町に提供するとともにホームページで公表します。併せて、避難勧告等に着目したタイムライン（時系列の防災行動計画）の策定がなされるよう支援します。

【住民等が主体的に避難できるよう支援します！】

■想定される最大規模の洪水等が発生した場合に浸水が想定される区域及び家屋が倒壊・流出する恐れがある区域を公表し、市町等と連携して住民への周知を徹底します。
また、スマートフォン等を活用し、洪水予報等をプッシュ型で情報提供するためのシステム整備に努めるとともに、従来から用いられてきた水位標識、半鐘、サイレン等の情報伝達手段についても有効に活用します。

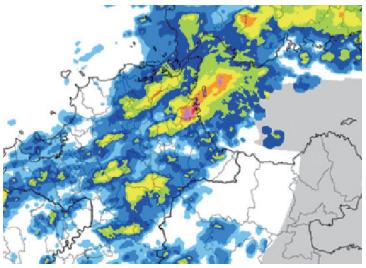
【防災知識の普及が図れるよう努めます！】

■学校教育現場における防災教育の取り組みを推進するために、教育委員会等に必要な資料等の提供を行うなど必要な支援を行います。
また、住民が日頃から河川との関わりを持ち親しんでもらうことで防災知識の普及が図れるよう、河川環境の保全活動や防災知識の普及啓発活動等の支援に努めます。

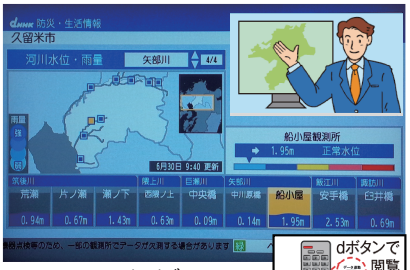
解 説 「洪水時における河川情報の提供について」

■洪水時において矢部川の水位や雨量の状況を把握できるよう、インターネットやテレビ、携帯電話等へ随時情報提供を行っています。各種情報の入手方法につきましては下記をご参照下さい。

インターネット
（雨量、水位情報等）
筑後川河川事務所 検索



インターネット
（レーダー雨量情報）
Xレイン 検索



テレビ
（地上デジタル放送）
（雨量・水位情報）

防災メールのイメージ
河川情報アラームメール
kasenalarm-entry@qsr.mlit.go.jp
携帯電話
（河川アラームメール）

【利　水】

【引き続き矢部川における水利用の実態把握に努めるとともに渇水時は被害を最小限に抑えるように努めます！】

■平常時の水管理

○河川の水利用の調査等を行い、クリーク等を介した複雑な農業用水の利用特性の把握に努めます。
さらに日向神ダムの有効活用等による流況改善に努め、これにより良好な河川環境の保全及び有明海の環境保全に努めます。

■渇水時の水管理

○渇水等により河川流量が減少し、渇水対策が必要となった場合は、「矢部川水系渇水調整協議会」等を活用しながら、被害の軽減に努めます。

【環　境】

【矢部川の清らかな流れと豊かな自然が織りなす良好な河川景観の維持・形成を図り、豊かな自然環境の保全・創出に努めます！】

■多様な動植物の生息・生育・繁殖環境の保全・創出

○重要種を含む多様な動植物を育む瀬・淵、ワンド、細流、河岸、河畔林、河口干潟、ヨシ原、汽水域等の定期的なモニタリングを行いながら、良好な自然環境の保全・創出に努めます。
○矢部川が有する良好な自然環境を保全するため、特定外来生物については、関係機関や地域住民等と連携・協力し、除去等を推進していきます。

瀬・淵と河畔林

干潟とヨシ原

外来水草除去の状況

■良好な景観の維持・形成

○河畔林や瀬・淵、砂礫河原等からなる自然景観等の維持・形成に努めるとともに、沿川の土地利用と調和した良好な水辺景観の維持・形成に努めます。

■水質の保全

○関係機関等と連携を図りながら良好な水質の保全と向上に努めます。
また、水質事故対策の訓練等を実施し、被害の拡大防止に努めます。

■人と河川の豊かなふれあいの場の確保

○河川利用のニーズが高い地区については、安全性及び利便性に配慮した河川空間の整備及び完成後の利活用・維持管理面での地域の協力等について検討し、「かわまちづくり支援制度」等の活用により、必要な場の整備を行います。

桜並木とクスノキ林

水質事故対策訓練

川　遊　び

【関係機関・地域住民との連携をより強化していきます！】

■河川整備を行っていく中では、流域の土地利用、河川利用の状況等を考慮し、地域住民や関係機関等と連携しながら流域一体となって総合的に河川整備を行う必要があることから、積極的な広報活動等により幅広く情報提供を行いながら、地域住民や関係機関等との合意形成に向けた情報の共有化を図ることにより、地域住民が矢部川に関わる機会を設け、従来の河川管理者が行ってきた河川整備・管理から地域住民と協働した河川整備・河川管理の推進を図っていきます。

矢部川楽校（地元講座）in 八女

川の安全講習の開催

【コミュニティの形成のための支援を行っていきます！】

■地域における防災力向上の取組や河川環境の保全の支援等、矢部川を活用した地域活動をとおして、地域の身近なコミュニティの形成、さらには流域全体に広がる大きなコミュニティの形成につながるような、地域防災リーダーの育成や自主防災組織の結成・訓練等に資するための出前講座など支援活動を行っていきます。

【河川情報の発信と共有を行っていきます！】

■矢部川の特性と地域風土・文化を踏まえ、「矢部川らしさ」を活かした河川整備を進めるために、報道機関と連携した広報活動を積極的に行い、関係機関や地域住民との双方向コミュニケーションの推進を図ります。また、水生生物調査、各種イベント、環境学習等、水辺での自然体験活動等を支援し、自然体験活動の指導者育成を支援するとともに、将来の地域を担う子供達への環境学習を積極的に支援していきます。

矢部川での水生生物調査状況

矢部川での環境学習の実施状況

解説　「矢部川における流域住民団体と連携した取組について」

■矢部川をつなぐ会：「矢部川の水の恵みに感謝し、次世代に継承するために、流域で活動している団体および行政・企業のネットワークを形成し、実践活動を行う」ことを目的とした活動団体です。

■目的のために行う取組
- 流域の問題解決のための取組
- 流域の上下流交流
- 流域の環境保全及び改善
- 流域での体験及び学習
- 目的達成・啓発に必要なこと

定　例　会

塩生植物見学会

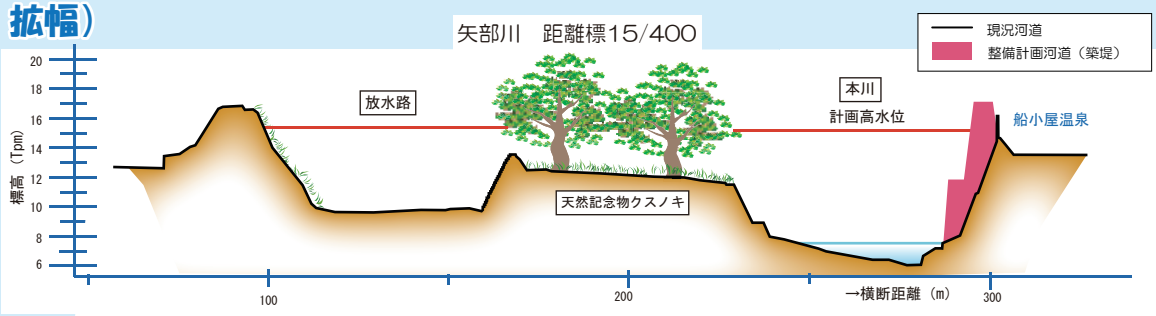
川の防災教育

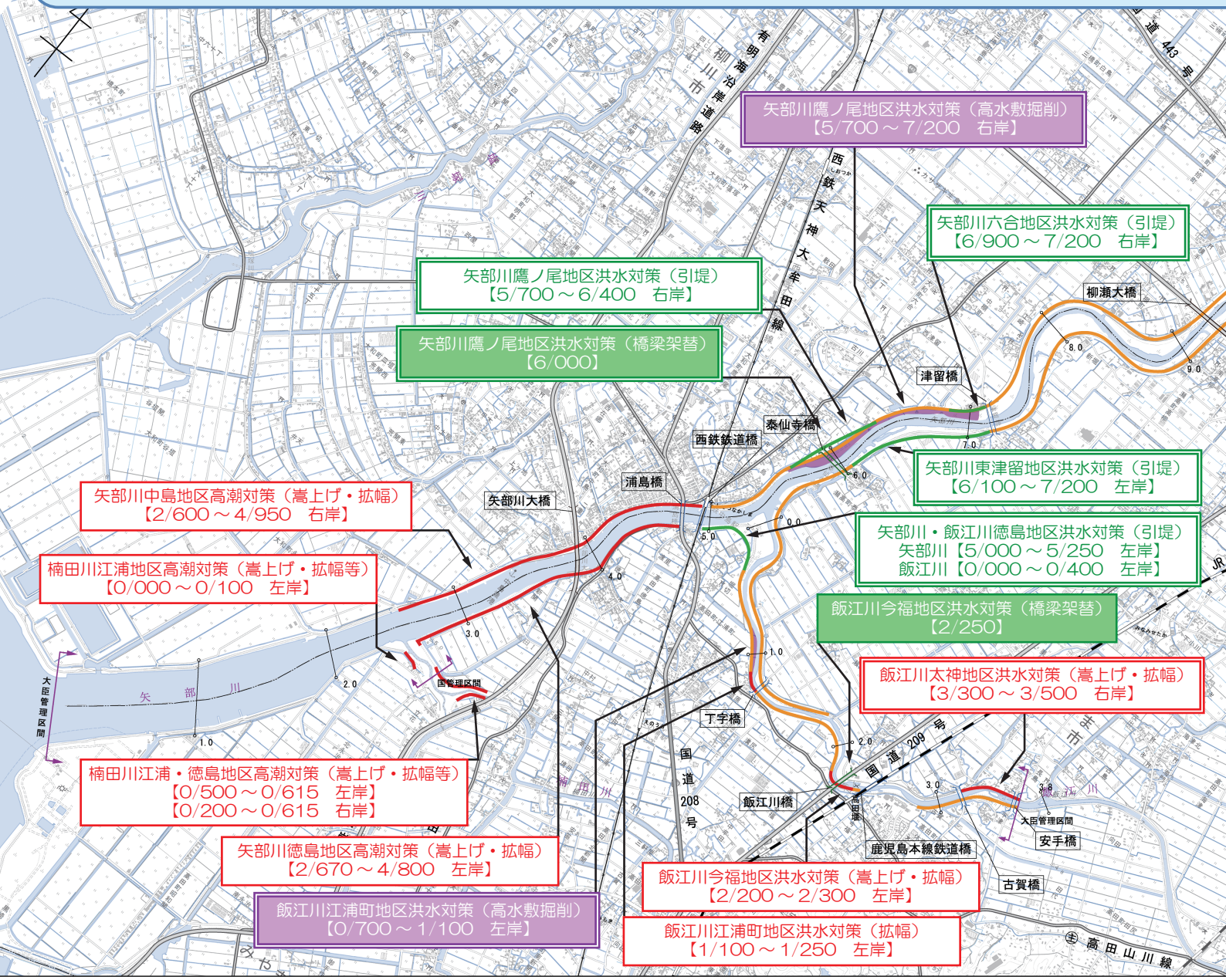
河川整備の内容＜整備箇所位置図＞

洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

1. 堤防整備（嵩上げ・拡幅）

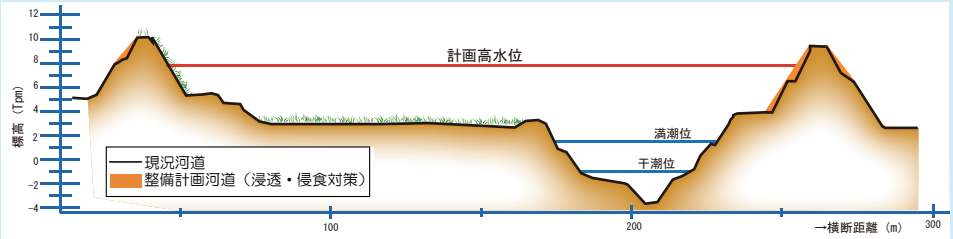
堤防高・断面が不足している筑後市船小屋地区等において堤防の嵩上げ・拡幅等による整備を実施します。





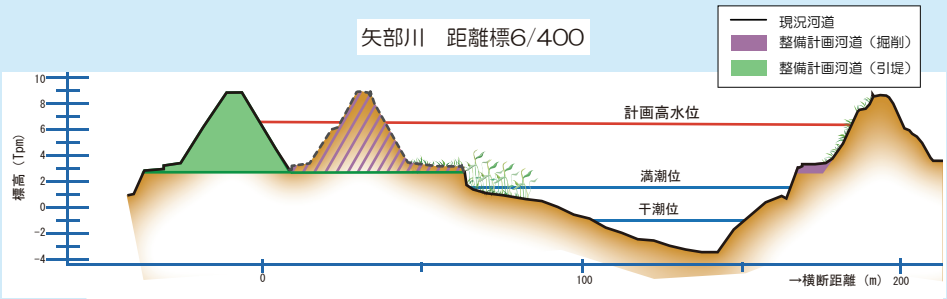
3. 堤防等整備（浸透・侵食対策）

洪水時の降雨及び河川水の浸透により堤防が不安定化する、あるいは流水の侵食作用により堤防や河岸が不安定化・流出することを防止するために、堤防や河岸の耐浸透機能及び耐侵食機能について必要な対策を行います。



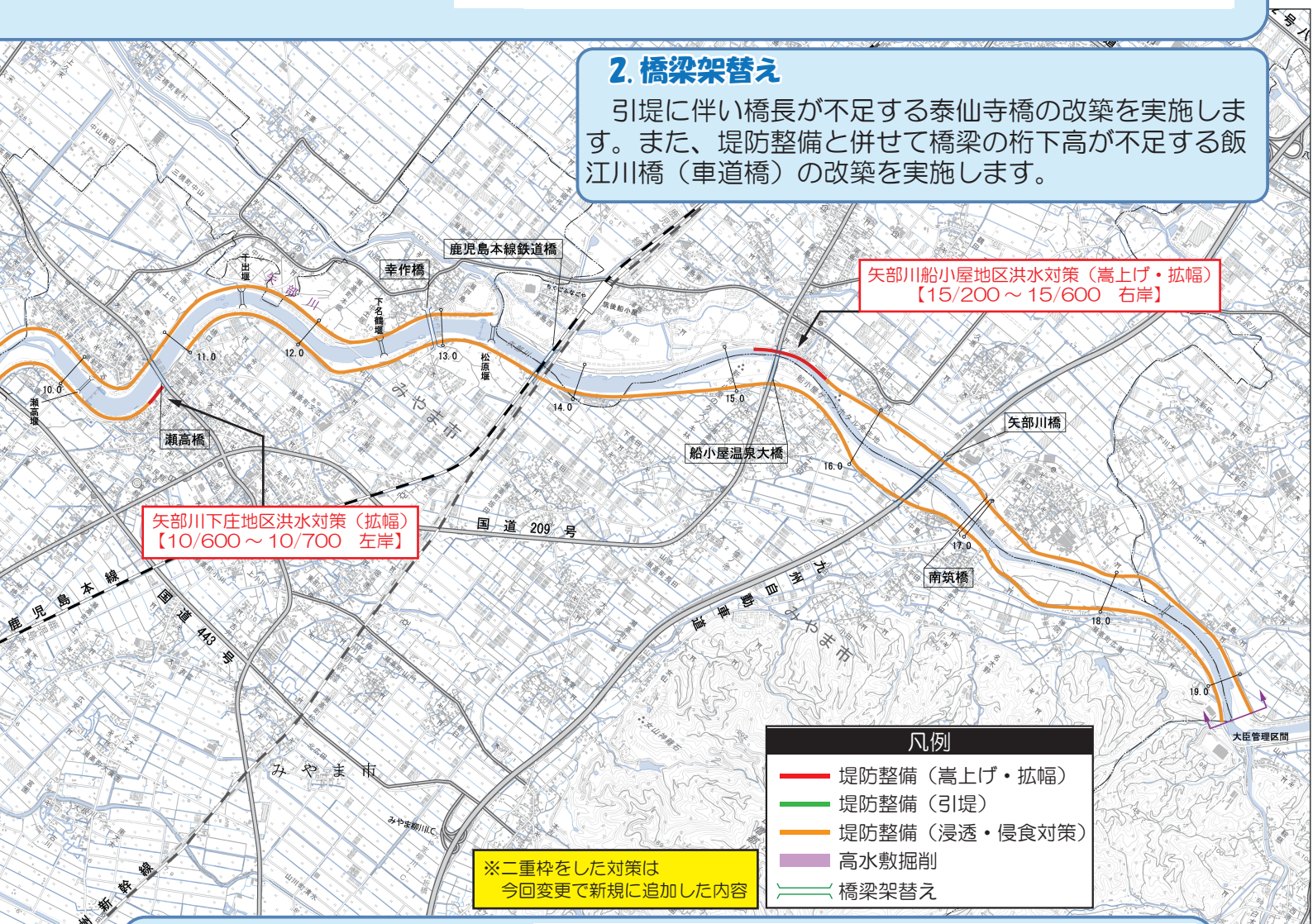
堤防整備（引堤）

川幅が狭く、流下能力が著しく低い柳川市鷹ノ尾地区等において、川幅を広げるための堤防整備を実施します。



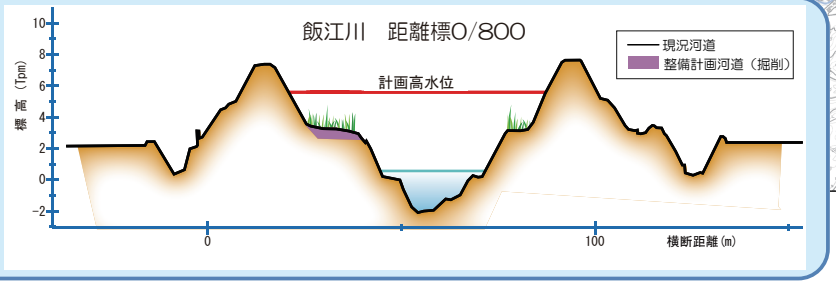
2. 橋梁架替え

引堤に伴い橋長が不足する泰仙寺橋の改築を実施します。また、堤防整備と併せて橋梁の桁下高が不足する飯江川橋（車道橋）の改築を実施します。



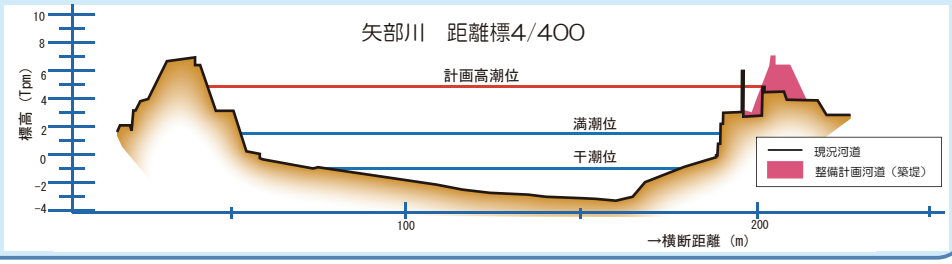
4. 高水敷掘削

河道の流下断面を拡大し、流下能力を確保するために高田町江浦地区等において高水敷掘削を行います。



5. 高潮対策

高潮の被害を防止するため、高潮堤防の高さや幅が不足する区間において、高潮堤防の整備等を行います。



「矢部川水系河川整備計画（変更）―国管理区間―」は地域の方や学識者から頂いたご意見をもとに策定しました。

矢部川学識者懇談会

矢部川河川整備計画の変更にあたっては、各分野の学識者 8 名からなる「矢部川学識者懇談会」を設置し、平成 26 年 9 月に第 1 回を開催し、計 3 回にわたり専門分野からのご意見を頂きました。

第 1 回矢部川学識者懇談会

第 3 回矢部川学識者懇談会

インターネット・意見箱による意見収集

流域の自治体や公共施設等、計 15 箇所に意見箱を設置したほか、筑後川河川事務所のホームページ上で意見を募集し、ご意見を頂きました。

意見箱（みやま市役所本庁）

意見箱（筑後船小屋駅）

住民説明会

矢部川河川整備計画（変更原案）の公表にあわせ、流域 5 会場で説明会を開催し、総勢 91 名の方にご参加頂き、ご意見を頂きました。

【住民説明会開催状況】

2 月 23 日（火）	みやま市瀬高公民館
2 月 24 日（水）	みやま市まいピア高田
2 月 29 日（月）	筑後市立古川小学校 体育館
3 月 1 日（火）	柳川市大和公民館
3 月 4 日（金）	八女市立宮島公民館

みやま市瀬高住民説明会

筑後市住民説明会

柳川市住民説明会

八女市住民説明会

インターネットによる整備計画の閲覧

矢部川水系河川整備計画本文については、下記のホームページで見ることが出来ます。

http://www.qsr.mlit.go.jp/chikugo

国土交通省　九州地方整備局　筑後川河川事務所

このパンフレットに関するお問い合わせ先

国土交通省　九州地方整備局
筑後川河川事務所　調査課
〒830-8567 福岡県久留米市高野 1 丁目 2 番 1 号
TEL 0942-33-9134　　FAX 0942-35-0224